

第5学年家庭科学習指導案

奈良教育大学家庭科教育専修

福井彩乃

1. 単元名「より良い買い物の仕方を考えようーごみや無駄を減らす面からー」

2. 単元の目標

- ・地球規模で起こっている環境・社会問題について理解する。自分の生活と環境との関わりや環境に配慮した消費行動について理解する。 (知識・技能)
- ・環境・社会に配慮した買い物について考え、自分ができる物の選び方、買い方を考え工夫する。 (思考力・判断力・表現力)
- ・環境問題について関心を持つとともに、消費者としての責任を自覚して持続可能な社会の構築に向けて、日常生活で継続して取り組む。 (学びに向かう力・人間性等)

3. 単元について

(1)教材について

本単元はC消費生活・環境の領域である。その中でも、ごみを減らすためにどのような買い物をすべきかをきっかけに、自分の生活と環境・社会問題との関わりに気づき、消費行動に責任があることを理解できる。本単元はごみ問題から、環境への配慮を中心に消費行動を考えるが、学習後、社会への配慮(フェアトレード商品を買う)、地域への配慮(被災地の特産品を買う、地産地消する)生物多様性の配慮(SFC森林認証商品を買う)のように、環境面以外にも自分たちの消費行動で世界を変えることができることに気付かせたい。

ごみ問題について、戦後の復興後、高度経済成長期を迎え、大量消費、大量生産、大量消費の社会へととなり、消費社会により生まれたごみは地球の環境汚染に大きくかかわっている。自然の再生システムが間に合わないほどにごみがどんどん増えていくことで環境に負荷がかかる。例えば、埋め立て処理をする場合、埋め立て場所がなくなっていくこと、地下水の汚染につながるという問題がある。焼却処理をする場合、燃やすことで熱エネルギーが得られるが、設備に莫大な費用が掛かっていること、発生したガスで大気汚染につながるという問題がある。そのためできるだけごみをたくさん出さない工夫や、ごみを資源として再利用できるように私たちが工夫する必要がある。

本単元を通してより良い消費者、とくに環境・社会に配慮した消費者になることを目指したい。価格や利便性だけでなく、環境のことを考えて商品や店を選ぶ消費者のことをグリーンコンシューマーという。より良い消費生活の面から、ごみを減らすためにできることを考えると、「必要なものを必要なだけ買うようにする」、「使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ」、「容器や包装はない物を優先し、次に最小限の物、容器は再利用できるものを選ぶ」があり、間接的な方法では「リサイクルされた物、リサイクルシステムの

あるものを選ぶ」などが方法に挙げられる。これらはグリーンコンシューマーの 10 原則にも入っている。グリーンコンシューマーは商品を購入するときに環境に配慮した商品を選ぶところで終わってしまうのではなく、購入後、その商品をどのように使うか、また、使い終わった後はどうするのかを考えることも大切である。商品を購入したあとでは、食べ残しを減らす、牛乳パックを回収ボックスへもっていく(リサイクル)、捨てずにおさげりにする(リユース)、最後まで大切に使い切る(リデュース)、修理して使う(リペア)問題のある商品に意見を反映させる(消費者の権利)などの行動ができる。

購入・使用・廃棄の消費生活の流れのなかの、消費者が商品を選び購入することは、選挙で一票を入れることと同じであり、一人の消費者の力は小さく思えるが、その 1 票は大きな社会参加であること。より良い商品を買ひ、問題のある商品は買わない(=投票しない)ことで、商品が改善されたり、事業者の姿勢を変えたりすることができる。

(2)児童について

(3)指導について

この題材を通して自分の消費行動が自然環境や社会に関わっていて消費行動に責任があることを理解させたい。本単元では初めに買い物をする時に気を付けることは何かを考える。気を付けることとしてデザイン性、安さ、好み、鮮度、環境への負荷などが予想されるが児童にとってはデザイン性、安さ、好み、鮮度が身近に感じるもので環境への負荷について身近に感じる児童は少ないと予想する。そのために、まず、自分の消費行動が自然環境、社会にどのような影響を与えているのか、どのようにかかわっているのかを気付かせたい。消費行動が自然環境、社会に与える影響の 1 つとしてごみの問題がある。使い捨て商品を購入する、必要以上に購入する、過剰包装の商品を買うことで捨てるごみの量が増えることになる。ごみの処理の方法に焼却があるが、それにはお金がかかってしまうこと、燃やすことで熱エネルギーが得られるが設備に莫大な費用が掛かること、焼却の際のガスで大気汚染につながる、埋め立てでは地下水の汚染につながる、埋め立ての場所がなくなっていくという問題がある。このような問題に自分たちが関わっていることを理解させるために、小学生にとって身近なお菓子の包装を挙げ、そこに捨てなければならないものが多くあることを理解し自分事としてとらえる。例えばチョコレート菓子では、リボン、箱のふた、段ボール紙のつめもの、チョコレートの説明書、プラスチックの型トレイ、箱の底蓋、チョコを包む銀紙と様々な包装があることがわかる。ここでごみを増やすことで様々な問題があることがわかったが、ごみを出してはいけないという意味ではなく、必要以上のごみを出さないこと、ごみを出したとしてもそのごみが資源として再利用できれば最終的にごみになっていないことを確認し、誤解しないように指導する。

自分の消費行動、特にごみを増やすという面で環境や社会に影響を与えていることが理解できた。次に買い物の仕方を工夫することでどうすれば捨てるものを減らすことができるか買い物をする時に気を付けるポイントを考える。気を付けるポイントとして、「必要なものを必要なだけ買うようにする」、「使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ」、「容

器やほうそうはない物を優先し、次に最小限の物、容器は再利用できるものを選ぶ」、「リサイクルされた物、リサイクルシステムのあるものを選ぶ」などが挙げられる。

ここまでごみ問題の面で環境に配慮した買い物の仕方を考えた。次に消費行動の中には、購入・使用・廃棄の流れがあり、商品を購入するときだけでなく、購入後、その商品をどのように使うか、また、使い終わった後はどうするのかを考えることも大切であることに気付き、購入後にできることを考える。

消費者が商品を選び購入することは、選挙で一票を入れることと同じである。これを本単元に当てはめて考えると、リサイクルに熱心な企業や再生資源を使用した商品、再生資源として使える商品を買ひ、そうでない商品は買わないことで、商品が環境に配慮した物に改善されたり、事業者の姿勢を変えたりすることができる。このことから、自分たち消費者には責任があり、環境・社会に配慮した消費行動が必要であることを理解する。環境・社会全体で考えたよりよい消費行動を考えた。これらの行動はグリーンコンシューマーの 10 原則の内容であり、それをきっかけによりよい消費行動とは何かについて学んだ。自分が今日からできる「よりよい消費行動」を具体的に挙げて、クラスと交流することで自分のより良い消費行動の幅を広げる。意見交流をして選択の幅を広げることで、消費者が我慢して商品を買わなければならない、という意味ではなく、洗剤やお菓子、調味料など、必要な分だけ購入できる量り売りのお店を選択するなど楽しく環境に配慮した消費行動があるということを理解させたい。また、宿題としてより良い消費行動を見つける際に、家のごみを確認することにより、児童と児童の家庭と一緒に消費生活を意識できるようにしたい。

(4)ESD との関連

○この題材で働かせる E S D の視点 (見方・考え方)

【相互性】

普段の消費生活が身近な自然にもたらす影響があるこり、これを無視して続けていけば地球環境に大きな負荷をかけるということ。

【責任性】

私たちが環境全体を考えた消費行動を意識して生活を変えていくことが何よりも大切であること。

○この学習を通して育てたい E S D の資質・能力

【クリティカル・シンキング】

自分の生活を見つめ直す。便利なものが本当に良いのか、自分だけでなく環境に配慮した生活や消費行動をしているかを考える。

【長期的思考力】

私たちの生活が、今後の地球環境にどう影響するか、商品購入した後のことまで考える。

【コミュニケーションを行う力】

これからの環境に配慮した生活を送るために、自分たちができる消費行動について、意見交流を通して自分の考えをつくりあげる。

○この学習を通して育てたいE S Dの価値観

【世代間の公正】

自分たちも、将来の人も、豊かな地球環境で生活できるような消費生活を追求することが大切である。

【自然環境や生態系保全を重視する】

環境に配慮した消費生活でないと、環境に負荷をかけてしまい、「より良い消費行動」とは言えない。

○達成が期待される SDGs

【12 作る責任・使う責任】

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性等
<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で起こっている環境・社会問題について知り、自分の消費生活と環境・社会に関わりがあることを理解する。 ・環境に配慮した消費行動の方法を理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・社会に配慮した買い物の仕方を考え、方法を伝えている。 ・様々な買い物の方法を聞き自身の考えを深めている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について関心を持っている。 ・消費者としての責任を自覚して、日常生活で実践しようとする。

5. 単元展開の概要

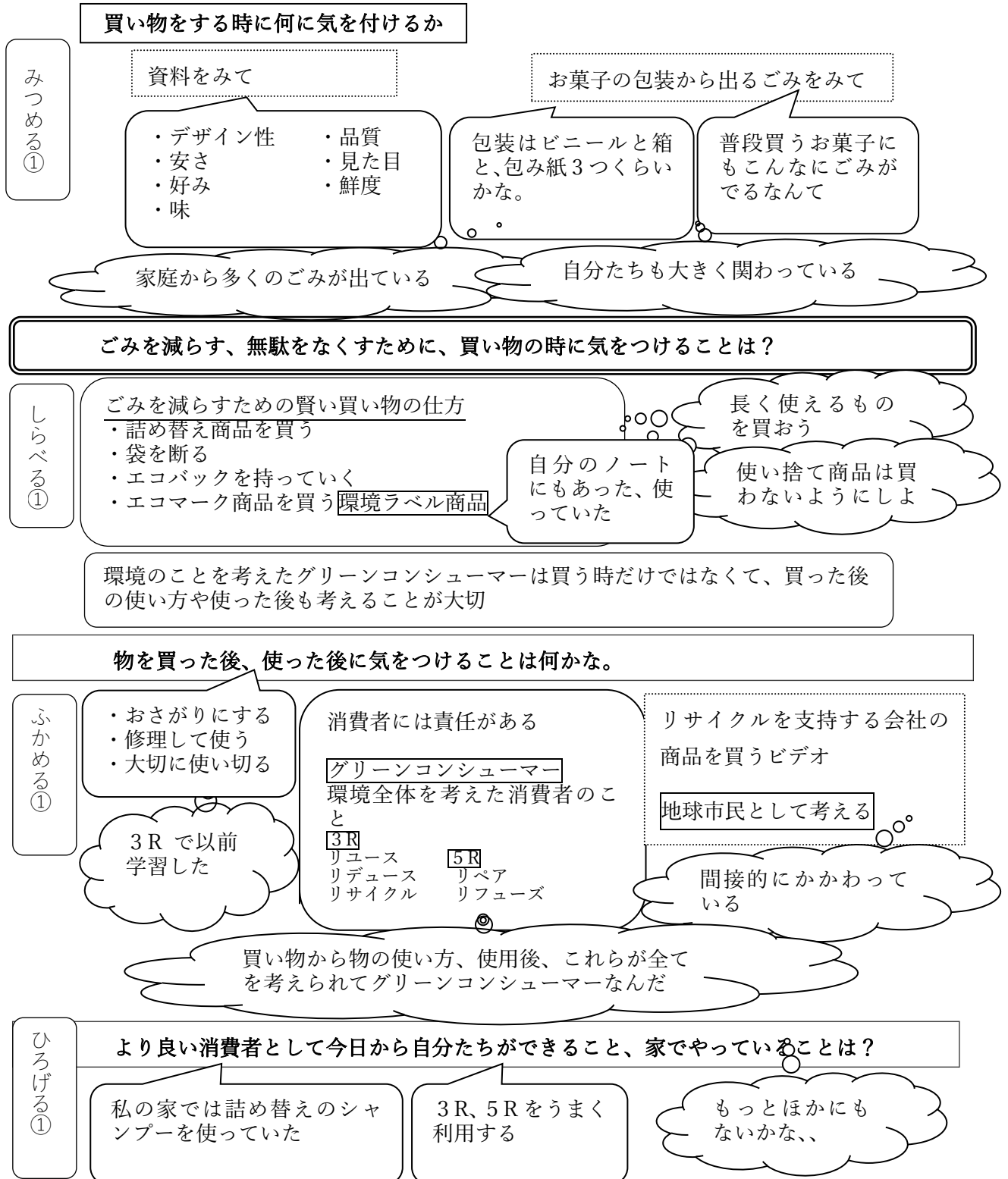
	学習活動	指導上の留意点	評価
み つ め る ①	<ul style="list-style-type: none"> ○買い物をする時に何に気を付けるか考えを挙げる ○ごみ問題の写真から、ごみが増えることで環境に負荷を与えていることを理解する ○お菓子の包装から、ごみは家庭など自分たちから出ていることに気付く 	<ul style="list-style-type: none"> ●思いつかない場合はヒントで具体的な商品を提示する(資料1) ●黒板にごみ山の写真を貼る ●お菓子の包装を少し予想させてから包装の分解を進める 	環境問題について関心を持っている(学びに向かう人間性)

		<p>●ごみを出してはいけないという意味ではなく、ごみを出したとしても資源として再利用できれば最終的にごみになっていないことを確認する</p>	<p>地球規模で起こっている環境・社会問題について知り、自分の消費生活と環境・社会に関わりがあることを理解する (知・技)</p>
し ら べ る ①	<p>○ごみを減らすために買い物でできることを考える</p> <p>○買い物の仕方を全体で発表する</p> <p>○消費行動は商品を購入するときだけでないことに気づき、購入後の使い方や使い終わった後はどうするのかについて問題意識を持つ</p>	<p>●「買い物時」にできることを考えるように言う</p> <p>●具体的な意見が多く出いたらグリーンコンシューマー10原則より「必要なものを必要なだけ買うようにする」、「使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ」、「容器や包装はない物を優先し、次に最小限の物、容器は再利用できるものを選ぶ」「リサイクルされた物、リサイクルシステムのあるものを選ぶ」の4点で分類し買い物の仕方をまとめて整理する</p> <p>●実際に自分の持ち物から環境ラベル商品がないか探す時間を作る</p> <p>●購入・使用・廃棄の流れが消費行動にあることを伝える</p>	<p>環境・社会に配慮した買い物の仕方を考え、方法を伝えている。(思・判・表)</p>
ふ か め	<p>○全時で児童から出なかった案について、ビデオを視聴してさらに環境に配慮した買い</p>	<p>●間接的な行動となる、消費者が商品を選び購入することは、選挙で一票を入れること</p>	<p>・次回までの宿題として、より良い消費行動で、家庭でや</p>

<p>る ①</p>	<p>物の方法を理解する</p> <p>○商品購入後の使い方や使い終わった後で、環境・社会を考えた行動は何か考える</p> <p>○意見を発表する</p>	<p>についてビデオから理解できるようにする</p> <p>●古紙回収→リサイクル、最後まで使う→リデュース、おさがり→リユースと関連付けられるように補足する</p>	<p>っていたこと、自分ができることを見つけておく</p> <p>環境に配慮した消費行動の方法を理解する（知・技）</p>
<p>ひろげ る ①</p>	<p>○宿題で見つけてきたより良い消費行動について全体で意見交流する</p> <p>○全体の意見交流を通して良いと思った行動や真似したい行動を見つけ、さらに自身のより良い消費行動について考えを深める</p>	<p>●黒板に案を書いていく</p> <p>●案が出た時に、消費者が環境に配慮して我慢をしなければならぬという考えに偏ってしまった場合は、量り売り等、必要な分だけを購入できるお店を選択するという方法もあることを伝える</p> <p>●交流を通して様々な消費行動が挙がるようにする</p>	<p>様々な買い物の方法を聞き自身の考えを深めている（思・判・表）</p> <p>消費者としての責任を自覚して、日常生活で実践しようとする(学びに向かう人間性)</p>

6. 授業構想案

5年家庭科「よりよい買い物の仕方を考えよう」(全4時間)



7. 参考資料

1) 商品を購入するときに気をつけること、ヒント

きゅうり
価格：1本80円
産地：北海道産
その他：まっすぐな形

きゅうり
価格：1本60円
産地：奈良県産
その他：まっすぐな形

きゅうり
価格：3本160円
産地：奈良県産
その他：曲がっている

Tシャツ
素材：綿100%
生産国：日本
価格：2000円
その他：白い無地

Tシャツ
素材：ポリエステル100%
生産国：日本
価格：1000円
その他：白地に紺色の横じま

Tシャツ
素材：綿100%
生産国：イタリア
価格：3500円
その他：自分好みのブランドデザイン

(東京書籍中学校家庭科 p 230)

2) 過剰包装の例

バーバラ・ジェームズ(著)小田英智(翻訳) (1991)『ごみとリサイクル 地球をゴミから守るために』 p10

3) ビデオ「よりよい買物の仕方を考えよう～エシカル消費ってなあに?～」

チャプター：地球の資源、環境を守る (9分40秒～11分12秒)

[啓発資料等 | 消費者庁 \(caa.go.jp\)](http://caa.go.jp)